

# タンザニア連合共和国

## 【国名】

- 国名は、建国時に「タンガニーカ」（大陸部）と「ザンジバル」（島嶼部）に「アザニア」（アフリカ東海岸の総称）を合成してつけられた。

## 【国旗】

- 黒は国民、緑は大地、青は海、金色は鉱物資源をそれぞれ象徴している。



タンザニア国旗

## 【国土】

- アフリカ大陸の東部及ぶ南部に属し、インド洋に面する沿岸国。面積は日本の約2.5

倍（94.5万km<sup>2</sup>）。首都はドドマ。人口は約6,856万万人（2024年：世銀）。



## 【政治制度】

- タンザニアは、1964年に本土タンガニーカと島嶼ザンジバルが合邦して成立した連合共和国である（タンガニーカの独立は1961年であり、日本は同年にタンガニーカを国家承認）。

## 【ザンジバル】

- 島嶼ザンジバルは、連合共和国政府とは別に独自の大統領及び議会議員を選出し、独自の司法・立法・行政自治権を有する。
- 2021年、ザンジバル島出身で英国在住の作家、アブドゥルラザク・グルナ氏が「植民地主義による影響と難民の運命への洞察力」に優れているとしてノーベル文学賞を受賞。アフリカ生まれの作家への文学賞は、2003年のジョン・マクスウェル・クツツェー氏（南アフリカ）以来。

### 【アフリカ大陸の最高峰（キリマンジャロ）】

- タンザニアのキリマンジャロ山（5,895m）はアフリカ大陸の最高峰だが、登山道が整備されているルートでは一週間程度でも登頂できるコースがある。
- タンザニアにとって日本は世界でも有数のコーヒー豆輸出国。日本でも馴染みの深

いアラビカ系キリマンジャロ・コーヒーはタンザニア産。

## 【7か所のユネスコ世界遺産】

- タンザニアでは7か所（自然遺産3、文化遺産3、複合遺産1）がユネスコにより世界遺産に指定されている。セレンゲティ国立公園やキリマンジャロ国立公園等はディズニー映画「ライオンキング」の舞台としても有名。同映画の主人公「シンバ」はスワヒリ語でライオンの意。

## 【オルドバイ渓谷（人類発祥の地）】

- タンザニア北部のンゴロンゴロ保護区内にある谷幅数百メートル、全長40キロにも及ぶ巨大な渓谷。火山活動によって形成された切り立った崖からは、多くの化石人骨や石器が見つかっている。アウストラロピテクスの完全な頭骨と最も原始的な石器

が世界で初めて同一の場所で発見されたことで有名となった。

## 【スワヒリ語】

- スワヒリ語は、タンザニア及びケニアの公用語の一つであり、東アフリカで広く話される地域共通語。同言語は、16世紀頃までにインド洋を渡ってタンザニアを含む東アフリカ沿岸部に都市国家を形成したアラビア語の語彙と大陸で話されてきたバントゥー諸語の文法が融合している。

## 【民族・宗教】

- 120以上の異なる民族が居住しており、独自の言語、習慣、伝統を有す。中でもマサイは最も有名な民族として、鮮やかな衣装、戦士としての伝統、そして文化を守る象徴的な不屈の精神で世界的に知られている。

宗教構成（2020年ピュー研究所調べ）は、キリスト教63%、イスラム教34%、その他5%。

## 【スワヒリ時間】

●イスラムの影響を受けているスワヒリ語の文化圏では、「時間」に関する観念がいわゆる西洋とは異なっている。例えば、スワヒリ社会では太陽が昇る午前6時にスワヒリ時間の「0時（午前12時）」が始まり、太陽が沈む夕方6時に「（午後）12時」となる。日本との時差が6時間であるため、スワヒリ時間だと日本の時刻と同じ数字になる。例えば、日本（午後）5時、スワヒリ時間でタンザニア（午前）5時となる。

## 【ティンガティンガ】

●タンザニアで生まれたアフリカを代表するポップアート。1960年代末にタンザ

ニアのダルエスサラーム近郊で、失業中の労働者であったエドワード・サイディ・ティンガティンガ (Edward Said Tinga Tinga) が自分の思い描く世界を建築資材にエナメルペンキで描き始めたことによって生まれた。

- 欧州の人々の薦めによって展覧会が開かれたことにより注目を集めた。エドワードの死後、この作風を継ぐ弟子の画家達によって世界中に広まる。エドワードは美術の教育を受けていなかったこともあり、動物や植物などの自然が鮮やかな色彩で自由に描かれるのが特徴。
- 2025年大阪関西万博でもティンガティンガの実演コーナーが設けられ、来場者に人気を博した。

## 【マコンデ彫刻】

- タンザニア、モザンビーク両国国境に広がる広大な高原地帯に住むマコンデの人々によって生み出された黒壇の木の彫刻芸術。マコンデの人々の神話では、ひとりぼっちの男が黒壇の木をナイフで彫って最初の女性を創り、高原に移り住んだことが一族の始まりと言われている。人々の生活や精霊をモチーフにした作品が多い。
- 三重県伊勢市にはマコンデ美術館があり、マコンデ彫刻の現物に触れることができる。

### 【タンザナイト】

- 1966年、タンザニア、アルーシャ州の鉱山で発見された青～紫色の宝石で、12月の誕生石の一つ。同鉱山のみでしか産出されず、98年の大洪水により鉱区が閉鎖された際には価格が高騰した（鉱山は2

001年に再開）。特長はその多色性にあり、光の加減により群青色や紫色に輝く。

## 【ビール・ワイン】

- 東アフリカではどの国でも地ビールが有名で、タンザニアもその例外ではない。タンザニアで有名な銘柄は、キリマンジャロ、サファリ、セレンゲティなどタンザニアにちなんだ名前のものが多い。
- 比較的標高が高く涼しい首都ドドマには、ブドウ農園もあり、タンザニア産のワインを楽しむことができる。

## 【スポーツを通じての交流】

- 元マラソン選手ジュマ・イカンガ一氏は、1984年東京国際マラソン優勝、1983年の福岡国際マラソンでは、瀬古利彦とゴール直前の最終コーナーまで優勝争いを繰り広げるなど、日本でも活躍。現在

は、JICAタンザニア事務所の広報大使を務めており、同事務所及びタンザニア国家スポーツ評議会によるタンザニア初の女子全国陸上競技大会（レディース・ファースト）立ち上げにも協力。

- 2025年9月の東京世界陸上では、アルフォンス・フェリックス・シンブ選手がマラソンで金メダルを獲得した。
- 在留邦人有志により各地で野球の指導が行われており、年に一回の野球全国大会も開催されている。平成28年度の草の根文化無償資金協力により、ダルエスサラームに野球場を建設。
- 東京オリンピック・パラリンピックに際し、山形県長井市がタンザニア選手団ホストタウンに登録された。同市で開催される長井マラソンには例年タンザニア選手が参加している。2024年10月の長井市市政70周年記念式典において、長井市とドドマ市の姉妹都市盟約が締結された。

- 柔道や空手に一定の人気があり、平成25年度草の根文化無償資金協力（「ペンバ島多目的スポーツ施設建設」）や平成13年度日本万国博覧会記念基金事業（「ザンジバル武道館」）を通じて建設された柔道場で地元住民が練習を行っている。柔道ではパリ・オリンピックにも出場。

（了）